

情報公開用文書

2026年2月27日作成

研究課題名	乾癬患者におけるサルコペニア肥満の影響についての検討
研究の対象	当院皮膚科に通院中で、乾癬と診断されている方のうち、腹部～骨盤を含むCT検査を施行した方を対象とします。また、対照群として、腹部～骨盤を含むCT検査を施行した成人の日本人の方を対象とします。CT撮影期間は2010年1月1日から2028年3月31日までの間です。さらに、健常対照群として、過去に横浜市立大学先端医学研究センターバイオバンクに検体提供をされ、研究利用に同意しオフアウト手続きにより利用が認められている方を対象とします。
バイオバンクから提供する検体	健常者血清 40人 検体採取日 2018年6月1日～2020年7月31日 2021年6月1日～2022年10月31日 2023年6月1日～2024年9月30日
研究目的・方法	乾癬は、慢性に経過する皮膚の炎症性疾患で皮膚の他にも関節などを侵すことがあります。心疾患、糖尿病、メタボリックシンドローム、肥満など、様々な全身疾患との関連が知られています。特に肥満は乾癬との関わりが深いといわれており、肥満は乾癬の悪化因子でもあり、肥満であることが乾癬の発症リスクを上げるという双方向の関係があります。肥満度を表す指標としてbody mass index(以下BMI)がよく使用されています。高齢になるとBMIは低下する傾向にありますが、筋肉量の低下も関連しているといわれています。骨格筋量減少と肥満を同時に有する状態をサルコペニア肥満といい、糖尿病や脂質異常症、メタボリックシンドロームのリスクが高いことが指摘されています。乾癬の患者さんの中にも、高齢になりBMIが低下しているにも関わらず乾癬の病勢が中々改善しない方がおり、その中にサルコペニア肥満の様な病態を有する方がいる可能性を考えました。今回我々は乾癬患者さんの筋肉量、脂肪量等を測定し、対照群と比較し乾癬の病気の勢い、治療効果への影響について検討します。 さらに、健常群と比較して、乾癬患者における血中バイオマーカーの変化を解析するとともに、これらのバイオマーカーと筋肉量・脂肪量との関連について評価を行います。
研究期間	西暦 2023年 12月 20日(実施機関の長の許可日)～ 西暦2030年 3月 31日 情報の利用又は提供を開始する予定日:西暦2023年12月20日(実施機関の長の許可日)
研究に用いる試料・情報の種類	【試料】以下の検体を用います。 ・横浜市立大学先端医学研究センターバイオバンクで保存されている健常対照血清、 ・診療で採血された際の残余検体、・診断時に採取された組織の残余検体 【情報】診療録から以下の情報を収集します。 ・背景情報:診断、年齢、性別、身長、体重、既往歴、合併症等、・血液検査の結果:炎症反応、肝機能、腎機能等、・画像検査:CT、レントゲン、MRI(レントゲン、MRIは乾癬の方のみ)等 ・治療内容:薬および治療歴等
バイオバンクから提供する情報の種類	年齢、性別、検体採取日
お問い合わせ:	
○研究に関することは 研究責任者へ	所属: 横浜市立大学附属病院 皮膚科 氏名: 山口 由衣 メール: 電話: 045-787-2800(代表)
○研究への利用を拒否する場合は 横浜市立大学附属病院 バイオバンク室 事務局 メール:sentanbb@yokohama-cu.ac.jp 電話:045-787-2800	